

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	4035	(H.24)No.	4035
-----------	------	-----------	------

事務事業名	消防ポンプ自動車等整備事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
消防本部	消防救急室	辻本 全教	

会計区分	事業コード	452201・452202
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	消防費	消防ポンプ自動車等整備事業
項	消防費	(小事業名)
目	消防施設費	消防ポンプ自動車等整備事業

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	2	安全で安心な地域づくり
	施策	2	消防・救急
	小施策	1	消防体制の充実・強化
重点施策コード			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
警防業務全般について万全を期することを目的とする。
事業内容
消防ポンプ自動車等の整備・更新を計画的に行う。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)	H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	【緊急消防援助隊設備整備費補助事業】 ・救助工作車 1台 購入 92,401千円	【社会資本整備総合交付金事業】 ・指揮広報車 6,389千円 ・小型動力ポンプ付水槽車(42,755千円) 震災時及び水利不便地における対応車両、H.26年度分の前倒し	【社会資本整備総合交付金事業】 ・消防ポンプ自動車(水槽付CD-1) 30,200千円	【社会資本整備総合交付金事業】 指令車 4,100千円	【社会資本整備総合交付金事業】 はしご車(30m級) 170,300千円

	H.24年度(決算見込)		H.25年度(作成時予算額)		H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
<b>直接事業費</b>	<b>92,401千円</b>		<b>6,389千円</b>		<b>30,200千円</b>	<b>4,100千円</b>	<b>170,300千円</b>
内訳(千円)	国・県支出金	24,620	3,478	8,919	2,200	49,194	
	地方債	65,800	2,600	18,000	1,600	120,300	
	その他( )						
	一般財源	(0) 1,981	311	3,281	300	806	
人工数	職員	0.20人	0.20人	0.10人	0.10人	0.20人	
	臨時職員等						
	<b>概算人件費</b>	<b>(0千円) 1,540千円</b>	<b>1,540千円</b>	<b>770千円</b>	<b>770千円</b>	<b>1,540千円</b>	
	<b>+ 総事業費</b>	<b>(0千円) 93,941千円</b>	<b>7,929千円</b>	<b>30,970千円</b>	<b>4,870千円</b>	<b>171,840千円</b>	

## 4. 担当室による事務事業の点検 (\*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
救助工作車の更新により資機材・装備の機能強化を図り、迅速かつ安全な救助体制を整えることができました。大規模地震災害等に備え、今後も警防・救助体制に万全を期するため、消防車両等の計画的な整備・更新を行う必要があります。	財政状況が厳しい中、国の補助事業の活用など、引き続き、財源の確保に努めます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	消防施設等の整備・充実など消防対応力の強化を図りました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	<b>継続(現行)</b>
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関係する主な市の計画
警防業務全般に万全を期するため、継続して消防ポンプ自動車等を整備・更新していく必要があります。	